

羽田空港国際線エリアでAIコンシェルジュの公開実証実験を開始



東京国際空港ターミナル株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：土井 勝二、以下：TIAT）、株式会社インディ・アソシエイツ（本社：名古屋市中区、代表取締役社長：舘 昭利、以下：インディ・アソシエイツ）、株式会社 Nextremer（本社：東京都板橋区、代表取締役社長 CEO：高橋 太一、以下：Nextremer）は、2020年3月より首都圏空港の機能強化に対応する案内サービスの拡充を目的に、羽田空港国際線エリアでAIによる多言語案内ツールの公開実証実験を開始いたします。

■公開実証実験概要

実施期間：2020年3月29日（日）～9月30日（水）

実施場所：第2ターミナル 2階 国際線出発保安エリア
第3ターミナル 1階 エントランスプラザ

実施内容：AIエンジンを装備したタッチパネルディスプレイで、施設に関する案内、レストラン、ショップ情報などを、アニメーションのコンシェルジュ「羽田あすか」※1が音声認識機能、対話機能を使って24時間、多言語対応※2でご案内

※1 羽田空港を題材とした漫画「ビッグウイング」を作画された漫画家ひきの真二氏に作画依頼

※2 日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語の4言語

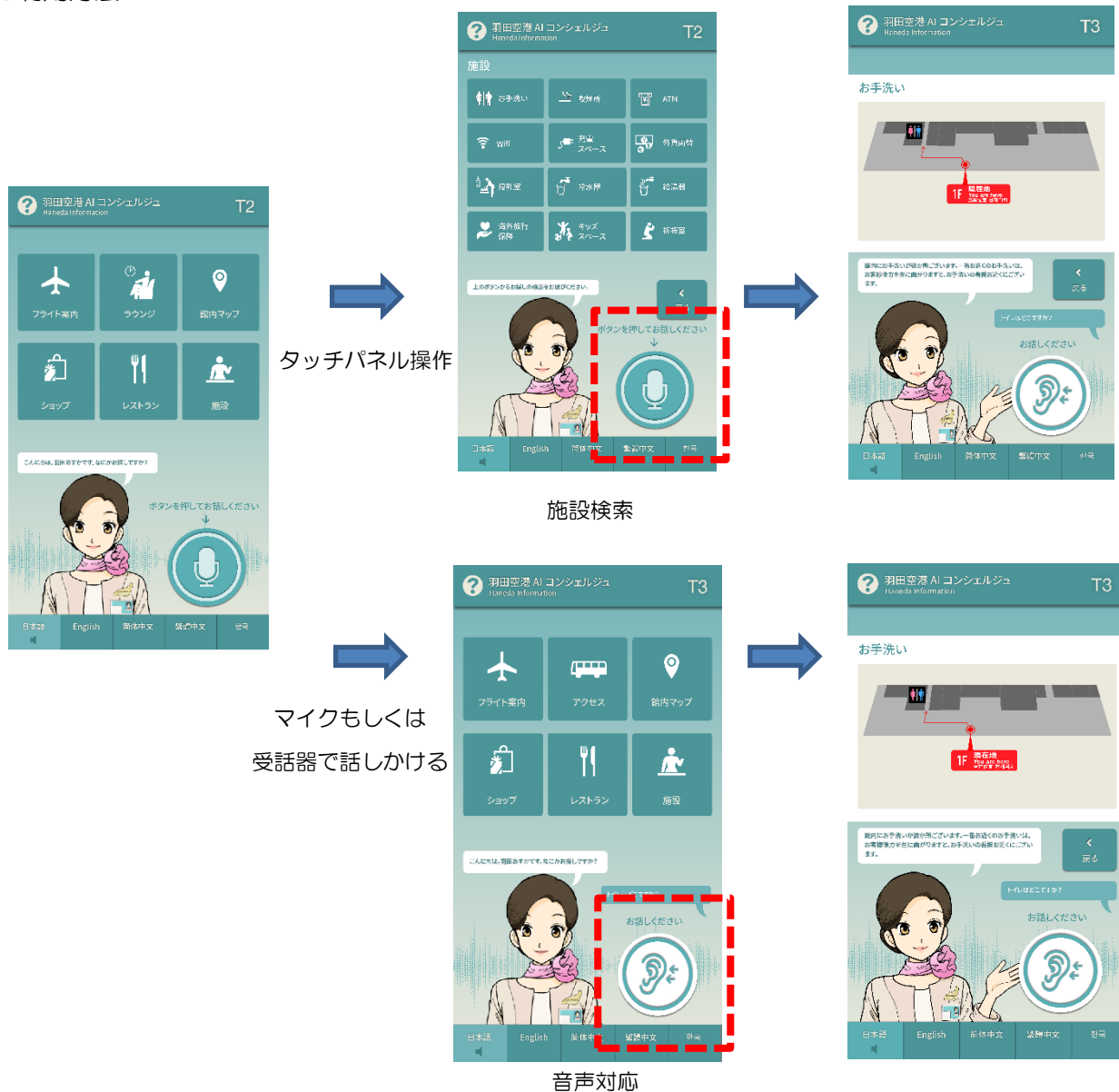
■AIコンシェルジュの概要

Nextremerが開発する、空港内の案内関連のワードなどの空港の案内業務における共通ワードの辞書機能や、施設案内に関する対話情報を保有する空港業務に最適化された対話型AIエンジンに、インディ・アソシエイツが管理する羽田空港内のデジタルサイネージ案内情報を連携させることで、施設情報と館内マップをディスプレイに表示し、視覚的かつ音声対話でご案内するので、サイネージ案内よりも有人対応に近い形式でより分かりやすくお客さまへご案内をすることができます。また、AIエンジンを使うことで、外国語でのお問い合わせに対しても、即時に対応することができます。

AI コンシェルジュは、お客さまのプライバシーを守るために、音声対応はマイク、スピーカー形式と受話器形式の両方を装備したハイブリッド形式を採用。また、ディスプレイには対話形式で文字情報も表示し、スピーカーには、指向性スピーカーを採用することで聴覚障害をお持ちの方でもご利用になれます。

筐体の高さも 1.5m として、車いすやお子さまなど、すべてのお客さまがご利用しやすいように設計いたしました。

■ご利用方法



T I A T は、日本空港ビルディング株式会社が立ち上げた Haneda Robotics Lab (以下：HRL) と連携し、HRL が以前実施した Nextremer の AI エンジンのデータを共有し案内業務の効率化に努めてまいります。また、羽田空港国内線、国際線の一体運用の観点から、国内・国際で同一のインターフェースを導入することで、羽田空港の国内、国際の情報を相互共有し、羽田空港をご利用になるお客さまの多様なニーズに対応し、利便性の充実を図ります。

HANEDA
ROBOTICS
LAB



Haneda Robotics Lab：ロボット開発者へ空港内での実験の機会を提供し、問題点を洗い出しつつ運用上の知見を共有するプロジェクト。政府の「改革 2020」プロジェクトの取り組みの一つとして、国土交通省および経済産業省との連携のもと運営。

【株式会社インディ・アソシエイツ】

1996年設立の映像制作会社。最新テクノロジーを活用し、デジタルコンテンツ制作やシステム開発も行う。羽田空港内では商業用デジタルサイネージの企画・制作・管理・運用を手掛け遠隔操作ロボット開発でHaneda Robotics Labへの参画の他、空港内におけるイベントの企画・運営なども手掛ける。

【株式会社 Nextremer】

東京、高知および金沢に拠点を置くAIの社会実装を推進するベンチャー企業。AIをより社会に受け入れやすい形で製品化することで、より多くの人々がテクノロジーの恩恵を受けられる世の中の実現を目指して、AI社会実装事業(AIエンジンライセンス、AIプロダクト)、AIシステム開発・研究開発を行う。Haneda Robotics LabではAI案内所を企画・運営し、空港内におけるイベントなどにも参画。

■本件に関するお問い合わせ先

□東京国際空港ターミナル株式会社
旅客サービス部 電話：03-6428-5961

□株式会社インディ・アソシエイツ
営業企画部 電話：03-5436-1184

□株式会社 Nextremer
経営管理部 電話：03-6915-6447

以上